

コースNo.93小城公園史跡と羊かんロード

起点 小城公園南駐車場 約3.3キロ コース担当 岡田  
見所 公園に凝縮された名所に個性が光る各羊かん店を訪ね  
コース概略

- ①紺野純子マンホール（ゾンビランドサガ登場人物がマンホールに刻印）
- ②岡山神社 一の鳥居・呉竹神門銘・獻灯銘 明治21年九七銀行株主寄贈
- ③岡山神社本殿（1789年国武社として創建1858年岡山社に改称）
- ④玉成社・武正社（柳生新陰流柳生宗矩・柳生十兵衛をそれぞれ祀る）
- ⑤大角榎（推定340年、佐賀の名木古木、大きさは30畳）
- ⑥春雨の碑（江戸期の端唄「春雨」作詞の小城藩士柴田花守を偲ぶ）
- ⑦烏森神社（1699年江戸の小城藩邸近くから勧請）
- ⑧忠魂碑（日清日露戦争での戦死者供養のため自治体で建立）
- ⑨後西院御製碑・呉竹銘（茶笥古墳上2代藩主直能が桜を増殖桜岡と呼ぶ）
- ⑩茶笥塚（有楽流茶道の弟子が使用済みの茶器を埋めた塚）
- ⑪甲戌烈士碑・呉竹銘（佐賀戦争で戦死の小城藩士13名を慰霊した碑）
- ⑫小城藩邸跡（佐賀藩と関係が悪化したときに佐賀から移住形成された）
- ⑬呉竹退筆塚・呉竹銘（大正3年に建立、正面に11代藩主の揮毫）
- ⑭小城藩邸入口前石橋（渡ると右に表御門、藩邸玄関は小城高校体育館付近）
- ⑮與讓館跡（現桜岡小学校、文武稽古所に後学寮に）
- ⑯桜岡公園碑・呉竹銘（呉竹揮毫の自然石、明治8年建立）
- ⑰呉竹記念館・小城市資料館（呉竹遺品・作品や小城の歴史が学べる）
- ⑱岡本羊羹店（営業日限定の手作り羊羹）
- ⑲中村屋（直火釜にこだわる昔ながらの製法）
- ⑳小城駅と歌碑🎵（国登録の有形文化財、平成27年にリニューアル）
- ㉑桜月堂（伝統の技と現代の素材を練りこみ、一口羊羹も名物）
- ㉒八頭司伝吉本舗 小城本店（一期一会を大切に羊羹本来の味を追求）





小城公園は小城藩初代藩主元茂公、2代直能の時代にかけて作られた名庭園です。明治8年佐賀県で最初の公園に指定されました。「さくら名所百選」「日本の歴史公園」にも選ばれています。

中林呉竹は文政十年（1827）4月19日小城藩士中林経緯の長男として現在の小城町本町（新小路）に生まれました。幼い頃より書にすぐれ、藩校興讓館に学び草場佩仙に師事、江戸～長崎～中国に渡り、最新の書法を学び、帰国後東京銀座「伊勢幸」に寄寓。全国を遍歴し多久の名作を残します。呉竹は日本近代書道の基礎を築き、あらゆる書体で多くの作品を残しています。

羊羹の歴史は中国では羊の肉を煮込んだスープのことで、日本に伝わったのは平安時代遣唐使が伝えたと言われます。日本では肉食を忌み嫌ったため、羊肉は使わない料理として広まり、江戸時代に小豆餡、寒天、砂糖を原料として練り上げられ羊羹の形になりました。小城羊羹は森永惣吉氏が明治5年か8年と言われています。大阪虎屋の手代より秘伝を学んだそうです。